

2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社
 コード番号 4634 URL <https://schd.toyoinkgroup.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 悟

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務担当 (氏名) 青山 裕也

TEL 03-3272-5731

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	68,359	7.8	3,527	17.4	4,222	112.3	3,159	171.9
2020年12月期第1四半期	63,424	8.2	3,004	7.8	1,989	34.7	1,161	51.5

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 10,411百万円 (%) 2020年12月期第1四半期 12,631百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	55.75	55.64
2020年12月期第1四半期	19.89	19.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	384,724	220,124	55.1
2020年12月期	380,227	217,325	55.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 212,017百万円 2020年12月期 209,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		45.00		45.00	90.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		45.00		45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	4.8	14,000	8.4	14,000	11.6	7,500	24.6	133.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	60,621,744 株	2020年12月期	60,621,744 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	4,823,385 株	2020年12月期	2,195,524 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	56,674,387 株	2020年12月期1Q	58,404,135 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2.決算補足説明資料は2021年5月14日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国での回復や日本、欧米など先進国での持ち直しの動きがありましたものの、新型コロナウイルスの感染再拡大や経済活動の再制限により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当企業グループの事業環境におきましても、国内外で個人消費がまだ回復途上にあるうえ、複数の原材料メーカーでのプラント被災や物流の停滞により、原材料調達に支障が発生するなど厳しい状況が続きました。このような環境のなかで当企業グループは、これらに対応するとともに、年度方針である「事業の収益力強化」、「重点開発領域の創出と拡大」、「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は683億59百万円（前年同期比7.8%増）と、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が出始めた前年同期と比べ増収になりました。営業利益は35億27百万円（前年同期比17.4%増）、経常利益は42億22百万円（前年同期比112.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億59百万円（前年同期比171.9%増）と、それぞれ増益になりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、一部事業について、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 色材・機能材関連事業

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、外出自粛に伴いテレビやタブレット、パソコン用のディスプレイ向けなどの需要が好調でした。また、台湾や中国での拡販も進みました。

汎用顔料は、情報系印刷インキ用の低調が続きましたが、リキッドインキ用は堅調に推移しました。インクジェットインキは、中国など海外を中心にデジタル印刷需要が回復しました。

プラスチック用着色剤は、国内では主力の容器用で外出自粛により食品容器向けが堅調に推移し、海外でも自動車用や事務機器用が好調に推移しました。また、欧州や東南アジアで不採算拠点からの撤退を計画通りに進めております。

これらの結果、当事業全体の売上高は185億16百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は11億76百万円（前年同期比70.8%増）と、増収増益になりました。

② ポリマー・塗加工関連事業

塗工材料は、需要が旺盛なスマートフォン向けに導電性接着シートや電磁波シールドフィルムが好調でした。液晶パネルや自動車向けの耐熱微粘着フィルムも好調に推移しました。

接着剤は、国内ではスナックやペットフード向けなど包装用が堅調に推移し、また海外でも、食品向けで回復しました。粘着剤は、国内のラベル用の需要が堅調でした。国内外で偏光板用なども好調でしたが、原材料価格の上昇が進み利益が圧迫されました。

缶用塗料は、国内では巣ごもり消費で飲料缶用が堅調に推移し、海外でも中国やタイで需要が回復しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は162億85百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は11億96百万円（前年同期比2.3%増）と、増収増益になりました。

③ パッケージ関連事業

リキッドインキは、国内では、外出自粛に伴いお土産や衣料品の紙袋向けが低調でしたが、冷食や麺類等の家庭用食品向けは堅調に推移しました。また、建装材用でも需要が回復してきました。海外では、中国で操業停止がありました前年同期から回復しました。一方、グローバルでの原材料の価格高騰や調達難が生じていることに加え、中国で工場移転に伴う費用が発生したことで、利益が圧迫されました。

グラビアのシリンダー製版事業は、エレクトロニクス関連の精密製版が好調に推移しましたが、包装用は伸び悩みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は170億47百万円（前年同期比4.4%増）と増収になりましたが、営業利益は7億17百万円（前年同期比16.0%減）と減益になりました。

④ 印刷・情報関連事業

情報系印刷市場の構造的な縮小が、新型コロナウイルスの感染拡大と長期化、経済活動の制限でさらに進み、国内ではチラシや広告、出版向けが低調でしたが、同業他社との協業やコストダウン、原材料価格上昇に対する販売価格への一部転嫁など、事業体質の改善を進めました。

海外では、前年同期に操業停止がありました中国で需要が回復しましたほか、食品や医療品などの紙器向けが堅調に推移しました。また需要に合わせて、グローバルでの供給体制最適化や、各拠点の事業体制再構築にも取り組みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は161億56百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は2億63百万円（前年同期比12.1%増）と増収増益になりました。

⑤ その他

上記のセグメントに含まれない事業や、東洋インキSCホールディングスなどによる役務提供などを対象としています。売上高は15億43百万円（前年同期比0.5%減）と減収になりましたが、退職給付費用の減少などにより、営業利益は1億81百万円（前年同期比218.1%増）と増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,847億24百万円で、前連結会計年度末より44億96百万円増加しました。負債は1,646億円で、前連結会計年度末より16億97百万円増加しました。純資産は2,201億24百万円で、前連結会計年度末より27億98百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末日の為替レートが前連結会計年度末日の為替レートに比べ、円安外貨高に振れたため、海外子会社で保有する資産、負債及び為替換算調整勘定が増加しました。また、日本国内の株価上昇を反映し、投資有価証券、繰延税金負債、その他有価証券評価差額金がそれぞれ増加しました。一方、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であった影響や、自己株式の取得による支出に伴い、現金及び預金は減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、2021年2月12日に発表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,469	66,672
受取手形及び売掛金	87,126	87,453
有価証券	57	12
商品及び製品	28,328	30,087
仕掛品	1,070	1,373
原材料及び貯蔵品	16,790	18,859
その他	5,178	5,563
貸倒引当金	△924	△974
流動資産合計	214,097	209,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,156	101,163
減価償却累計額	△65,629	△66,275
建物及び構築物(純額)	34,526	34,888
機械装置及び運搬具	152,140	152,967
減価償却累計額	△131,816	△132,591
機械装置及び運搬具(純額)	20,324	20,375
工具、器具及び備品	25,303	25,615
減価償却累計額	△22,067	△22,244
工具、器具及び備品(純額)	3,236	3,371
土地	30,529	30,660
リース資産	4,996	5,329
減価償却累計額	△1,269	△1,303
リース資産(純額)	3,726	4,026
建設仮勘定	10,273	14,121
有形固定資産合計	102,616	107,444
無形固定資産	3,113	2,898
投資その他の資産		
投資有価証券	48,440	53,315
退職給付に係る資産	8,608	8,655
繰延税金資産	2,398	2,446
その他	1,143	1,110
貸倒引当金	△191	△195
投資その他の資産合計	60,399	65,332
固定資産合計	166,130	175,676
資産合計	380,227	384,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,608	54,998
短期借入金	19,379	18,463
未払法人税等	1,082	1,165
その他	16,340	16,894
流動負債合計	91,411	91,521
固定負債		
長期借入金	60,492	60,829
繰延税金負債	6,561	7,647
環境対策引当金	1,485	1,484
退職給付に係る負債	1,914	1,965
資産除去債務	31	32
その他	1,005	1,118
固定負債合計	71,491	73,078
負債合計	162,902	164,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,499	32,498
利益剰余金	147,390	147,920
自己株式	△4,916	△9,882
株主資本合計	206,706	202,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,699	9,113
為替換算調整勘定	△5,284	△1,861
退職給付に係る調整累計額	2,583	2,495
その他の包括利益累計額合計	2,998	9,747
新株予約権	249	244
非支配株主持分	7,370	7,862
純資産合計	217,325	220,124
負債純資産合計	380,227	384,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	63,424	68,359
売上原価	49,120	53,444
売上総利益	14,303	14,915
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,665	1,851
給料及び手当	2,896	2,884
賞与	670	697
福利厚生費	767	791
減価償却費	489	532
研究開発費	756	819
その他	4,053	3,810
販売費及び一般管理費合計	11,299	11,387
営業利益	3,004	3,527
営業外収益		
受取利息	58	43
受取配当金	150	148
為替差益	-	544
その他	182	248
営業外収益合計	391	984
営業外費用		
支払利息	140	125
為替差損	1,007	-
持分法による投資損失	53	57
その他	204	107
営業外費用合計	1,405	289
経常利益	1,989	4,222
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	-	92
特別利益合計	3	92
特別損失		
固定資産除売却損	30	29
事業整理損	-	139
その他	5	4
特別損失合計	35	173
税金等調整前四半期純利益	1,957	4,142
法人税、住民税及び事業税	1,170	1,289
法人税等調整額	△424	△367
法人税等合計	746	922
四半期純利益	1,211	3,219
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,161	3,159

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,211	3,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,174	3,414
為替換算調整勘定	△3,542	3,731
退職給付に係る調整額	23	△87
持分法適用会社に対する持分相当額	△148	132
その他の包括利益合計	△13,842	7,191
四半期包括利益	△12,631	10,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,508	9,907
非支配株主に係る四半期包括利益	△123	503

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,271	14,797	16,178	16,063	62,310	1,113	63,424	—	63,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	602	49	142	7	802	437	1,240	△1,240	—
計	15,873	14,847	16,321	16,071	63,113	1,551	64,664	△1,240	63,424
セグメント利益	689	1,169	854	234	2,947	56	3,004	△0	3,004

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,935	16,207	16,892	16,155	67,191	1,168	68,359	—	68,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	580	77	155	0	813	374	1,188	△1,188	—
計	18,516	16,285	17,047	16,156	68,004	1,543	69,547	△1,188	68,359
セグメント利益	1,176	1,196	717	263	3,353	181	3,535	△7	3,527

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、開発を更に加速すべく事業管理区分の見直しを行い、従来「印刷・情報関連事業」に含めていた一部事業について、報告セグメントの区分を「色材・機能材関連事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。